

各群における代表的な鑑別疾患

高身長群（①群）

下垂体性巨人症、家族性高身長、クラインフェルター症候群、マルファン症候群、ホモシスチン尿症

過成長群（②群）

思春期早発症、甲状腺機能亢進症、下垂体性巨人症

低身長群（③④⑤群）

内分泌疾患；成長ホルモン分泌不全性低身長症、甲状腺機能低下症、くる病、思春期早発症・遅発症

染色体異常；ターナー症候群など染色体異常

奇形症候群；Prader-Willi 症候群、Noonan 症候群、Silver-Russell 症候群

骨系統疾患；軟骨異栄養症

先天代謝異常；ミトコンドリア病、糖原病

慢性疾患・栄養障害・薬剤性；脳腫瘍、心臓・肝臓・腎臓・消化管などの臓器の異常、医原性(ステロイド・放射線治療)・亜鉛欠乏

心理社会的要因(愛情遮断症候群)

体質性低身長症；SGA 性低身長症、家族性低身長症、特発性低身長症

肥満群（⑥⑦群）

単純性肥満（過食・食生活の乱れ）

症候性肥満（クッシング病、甲状腺機能低下症など）

医原性など

やせ群（⑧⑨群）

甲状腺機能亢進症、糖尿病、スポーツ障害、拒食症

全身疾患に伴うもの；脳腫瘍、心臓・肝臓・腎臓・消化管などの臓器の異常